

# 神経科学 I

## 授業概要

神経科学の講義・演習では発達科学的、精神科学的、社会医学的に各種精神神経疾患の病態生理、診断法および治療法について広く学ぶ。

## 担当教員

永井秀政（主担当）	准教授・脳神経外科学
宮岡 剛	准教授・精神医学
佐倉伸一	准教授・麻酔科学
和氣 玲	講師・精神科神経科
橋岡禎征	講師・精神科神経科

## 一般目標 general instructional objectives

1. 小児ならびに成人の神経疾患の病態生理を代表的精神神経学的視点から理解する。
2. 小児ならびに成人の代表的精神神経疾患の診断治療原則法を理解する。
3. 中枢神経の発生と可塑性を形態・機能面から総合的に理解する。

## 行動目標 specific behavioral objectives

1. 小児ならびに成人の精神神経疾患の分類法、診断法の基本原理を説明できる。
2. 小児ならびに成人の精神神経疾患の病態に応じた治療の原則を説明できる。
3. 小児ならびに成人のけいれん性疾患の年齢・病態に応じた治療の原則を説明できる。
4. 精神神経機能の障害の成因と修復過程を最新のニューロイメージングで理解する。

## 講義内容

1. 脳機能と可塑性
2. 臨床での薬剤による神経学的後遺症の動物実験モデル作成
3. 精神機能の神経科学的研究
4. ニューロイメージングと電気生理学の融合

## 成績評価の方法

すべての講義および演習が終わった後、規定の出席率(2/3以上)を満たした学生に対し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。そのレポート等を行動目標の達成度を主眼に評価する。

教育内容（講義および演習）

回	授業内容	担 当
1	麻酔薬による神経学的後遺症の発現と特徴	佐倉伸一
2	神経学的後遺症実験動物モデルの開発	佐倉伸一
3	麻酔薬の神経毒性の機序	佐倉伸一
4	脳神経と超音波検査について	永井秀政
5	神経内分泌学	永井秀政
6	脳神経病変によるてんかん発現の病態学	永井秀政
7	脳神経病態生理に基づく脳神経手術	永井秀政
8	脳血管障害の病態について	永井秀政
9	機能的脳神経外科学	永井秀政
10	精神科診断学（臨床）	和氣 玲
11	精神科診断学（基礎科学）	宮岡 剛
12	精神科治療学	宮岡 剛
13	精神科薬理学	宮岡 剛
14	児童思春期精神医学	和氣 玲
15	グリア細胞と精神神経疾患の病態生理	橋岡禎征
16	グリア細胞と神経変性疾患の病態生理	橋岡禎征